

青森県むつ市にて JAMSTEC むつ研究所と海洋地球研究船「みらい」見学会を開催

当協会では、8月5日（水）に国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）ならびに海洋地球研究船「みらい」乗組員の方々よりご協力を得て、JAMSTEC むつ研究所と海洋地球研究船「みらい」の見学会を行いました。

これは、日本政府が中心となって行う「第20回『海の日』特別行事」のうち、日本船主協会が参画する「海でつながるプロジェクト」の一環、「船ってサイコ～せんきょう夏休みキャンペーン」のイベントのひとつとして行ったものです。

むつ研究所内では、JAMSTECの職員の方から「みらい」で採取する世界中の海水の分析など研究所が担う役割について説明を受けたほか、地球の温暖化やエルニーニョ現象の解明に資するデータを海上で収集するための観測ブイの実物を見学しました。

続いて、参加者は研究船として世界最大級の「みらい」に乗船し、船橋や機関室に加え、研究船特有の暗室やクリーンルームなどの設備や、研究器具を大量に保管できる船倉を見学、その中で、振動を極力少なくするための船体構造などについて説明がありました。

当協会では今後も同様の取り組みを続けていく所存です。皆様のご参加をお待ちしています。



観測ブイの説明を受ける参加者



「みらい」後部操舵室



観測ブイ



「みらい」実験室



巨大なトライトンブイなどを
持ち上げるクレーン



外側から見学